

# 文化・芸術

## 名画の扉

大川美術館企画展から

褐色の乾いた風景の  
中には、途切れた線  
路、人の気配のない建  
物、葉の落ちた木がみ  
えます。人物は画面中  
央に描かれ、人間でさ  
えも、この風景の一塊  
にすぎないという印象  
を抱かせます。本作が  
描かれたとき、日本は  
戦争のただ中にありま  
した。当時の街の重く  
暗い雰囲気を、竣介は  
灰褐色と美しい黒い線  
で描きだしています。

こうした建物や人物  
が折り重なるように描  
かれている複合画法は  
「モンタージュ」と呼  
ばれています。竣介は  
1938年から40年に  
11月10日には松本竣  
介のアトリエについ  
て、評論家川本三郎氏  
と当館館長による対談  
が行われます。ぜひご  
参加ください。(池田)

かけてこうしたモン  
タージュ風の作品を集  
中的に制作しました。  
N駅とは、竣介の自  
宅近くにあつた中井駅  
のことでしょう。小高  
い場所にあつた自宅を  
出ると、中井駅が見下  
ろせたはずです。そう  
した風景を眺めながら  
街に出かけて行き、雜  
踏の中で時代の空氣を  
感じた後、竣介は主に  
自宅のアトリエで創作  
しました。

## 「N駅近く」

1940年、油彩・キャンバス

97.0<sup>0</sup>×131.0<sup>0</sup>

東京国立近代美術館蔵

